

令和3年度 全国学力・学習状況調査より

今年度の「全国学力・学習状況調査の調査結果」（今年度は国語、算数と児童質問紙を実施）から分析した、本校児童（6年生）の学力・学習状況についてお知らせします。

I、国語・算数の教科の成果について

国語…平均正答率が大阪府平均を上回り、全国平均とほぼ同じになりました。特に文章中の語句の意味や使われ方に対する理解に高い傾向がみられました。国語の専科指導に取り組んで2年目の成果が出ていると思われます。また、3～6年において朝の学習タイムに新聞記事を読んで、簡単な問いに答えるワークシートに取り組んでいることも読解力を高める助けになっています。

算数…国語以上に、正答率が全国平均・大阪府平均を大きく上回りました。昼のチャレンジタイムでの復習や、やり直しの徹底により、基礎基本が身につくことによって計算の決まりが定着してきています。

II、国語・算数の教科の課題について

国語…原稿用紙のようなマス目のあるものに文章を書くことがやや苦手な傾向があります。特に○字以上○字以内で書きましようなどの字数制限があるものや、○○さんの考えを引用して書きましようなど、いくつかの条件のもとに書く力が弱いです。文章を書くこと自体の力については、特定の語句を入れた文章を書くことや、原稿用紙のマス目に書くことに慣れさせる機会を授業の中で多く取り入れていきます

算数…今回は三角形の面積を求める問題にミスが多くありました。四則計算などはどの学年、どの単元でも繰り返し復習する機会がありますが、全体的に継続性が少ない単元の公式などは復習の機会が少なくなる傾向があるので、朝の学習タイムの際に、バランスよく復習問題を取り入れていきます。また、二つのグラフの関連性に気づけなかったりする傾向もあります。各問題の意図をしっかりと見極め、グラフの関連性を理解できる為には、文章問題への読解力や解答への論理的思考を養う必要があります。

II、児童質問紙について

基本的な生活習慣は定着しています。自尊感情も高く、将来の夢を持っている児童も多いです。また図書館司書が常駐で配置されて3年目になり、読書に親しむ児童がより増えています。これからも児童に最適な図書を選定しながらより多くの本を読む活動を継続して進めたいと考えます。

まとめとして、大阪府や全国の児童の回答と比べてみると、6年生児童は毎日の朝食摂取や睡眠時間の確保ができており、基本的な生活習慣が身についていると考えられます。また、学校のきまりを守ろうとする規範意識や学級みんなで協力するという集団意識も高いものがあり、良好な社会性がうかがえます。これもひとえに保護者の皆様や地域の皆様が温かな気持ちで子どもたちの「育ち」を見守って頂いているお陰です。ありがとうございます。子ども達の健全な成長には、学校教育活動だけでなく家庭や地域の皆様のご家庭でのサポートも不可欠だと考えます。今後とも保護者や地域の皆様の変わらぬご支援ご協力の程よろしくお願いいたします